

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成30年度 ICT機器を使った国語科と算数科学習への取組
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	国語1、「分かったことを文章に表して伝えよう」(光村3年下教科書「しりょうから分かったことをすじ道を立てて話そう」より) 国語2、「自分の考えを文章に表して伝えよう」(光村4年上教科書「組み立てを考えて書こう」より) 国語3、「つなぎ言葉について考えよう」(光村4年下教科書「言葉について考えよう 文と文をつなぐ言葉」より) 算数1「計算をしよう」 算数2「図形」(角度)(垂直平行)
	授業の目標	国語1、単元目標「資料から分かったことについて、順序を考えながら短い文章をつくり、相手に伝えることができる。」 国語2、単元目標「自分の考えが伝わる文章を書くことができる。」 国語3、単元目標「文と文の意味のつながりを考えながら、つなぎ言葉を使うことができる。」 算数1、目標「繰り上がりのたしざん繰り下がりのひきざん、かけざん、わりざんの計算ができる」 算数2、目標「角度をはかることができる」「垂直平行の意味を理解できる」
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 4年 1人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input checked="" type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input checked="" type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input checked="" type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input checked="" type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 出生時に、四肢短縮症と診断され、慢性呼吸器不全などの障害があり、医療的ケアを常時必要とする。気管切開をしており、言葉が発声できず、音声によるコミュニケーションができない。聴覚視覚にも障害があり、補聴器やメガネを使用している。補聴器を使用しても、軽度の難聴があり、言葉だけのコミュニケーションでは理解しづらい。学習中は、座位保持椅子や立位台を使用する。車いすやウォーカーを操作し、短い距離の移動はできる。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援( <input checked="" type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援 ) B活動支援( <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援 ) C学習支援( <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援 ) D実態把握支援( <input type="checkbox"/> D1実態把握支援 ) A意思伝達のコミュニケーション支援として、文字入力やシンボルを押すことで音声で発信したり、文字を書いたりすることで、相手へ自分が伝えたいことを伝える。 C教科学習や認知面を補うための情報入力のための学習支援として、学習教材や内容の提示や、カード、ドリル学習等に取り組む。
	使用した支援機器等教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット(アイパッドプロ)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・トーキングエイド</li> <li>・タッチ&amp;リード</li> <li>・ロイロノート</li> <li>・パワーポイント</li> <li>・ACFlipPro</li> <li>・単語帳プロ</li> </ul> </li> <li>・ノートパソコン               <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書</li> <li>・パワーポイント</li> </ul> </li> </ul> 
授業展開	授業展開・支援の手立て (授業の様子、支援機器等教材活用場面の画像を挿入。)	別紙記入(別紙1)
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	別紙記入(別紙2)